

祝辞

新入生のみなさん、保護者のみなさま、ご入学おめでとうございます。

それぞれの小学校を卒業し、〇〇中学校に入学されたみなさんへの言葉を考えようとしたとき、

「さて、中学校の【中】という文字はなんなのか。」

と、今更に疑問を感じました。

その答えは「昔の制度で大・中・小学校が定められたから」ということのようにです。他には「初等・中等・高等教育」という言葉がありますが、ここでもやはり【中】です。また、心と体の成長期であるみなさんは「子どもと大人の間」とも言えるでしょう。

そんないろいろなものの中地点であるみなさんは、それだからこそ、今からどこにでも好きな方向に向かって進んでいくことができます。

気が早い話ですが、今日入学式のために入ってきた正門を3年後に出ていくとき、皆さんはどこに進んでいくのでしょうか。

「進む路」と書いて「進路」、目的地が無ければ路は選べません。

ぜひ、夢という目的地を見つけ、それぞれの路を進み始めてください。

これからの3年間、勉強も、部活動も、それ以外の時間も、やることは山積みです。やった結果が良い場合も悪い場合もあるでしょうが、どちらも良い経験になります。ただ、その結果が出ればいいのか、そもそも結果を出すために、今から何をやればいいのかわからず、思い悩んで立ち止まってしまうことがあるかもしれせん。

そんな時は、ひとりでおぼえず、学校では先生方、家では保護者の方々、地域では各種団体の方々に相談しましょう。必ず、みなさんのチカラになります。

それぞれの経験から、みなさんが今からやるべきことを教えてくれます。

ただし、やるのはみなさん自身です。

やるべきことが難しくても、面倒でも、気に入らなくても、かつこ悪くても。

そして、やった結果がどうなるかわからとしても、まずはやり始めてください。

何せ、みなさんにとっての3年という時間は、後から思い返せばとても短いのです。これからの中学3年間という時間を、使うか捨てるかはみなさん次第です。

少しでも、多くの時間を使い、多くの経験をし、大きく成長してください。

私はみなさんに期待しています。

令和〇〇年〇月〇日

P T A会長

□ □ □ □